

## 横浜マリントワーのリニューアルオープンについて

横浜開港150周年に向けて「マリントワー再生事業」に取り組んでまいりましたが、新たな観光交流施設として「横浜マリントワー」は5月23日（土）にグランドオープンします。

### 1 開業日について

5月23日（土）午前10時から営業開始します。

### 2 リニューアルの特徴について

- ・展望台を一新、広大な港の風景が楽しめます。また床の一部をガラス張りにしました。
- ・塔体部の色彩を、外側はシルバー、内側はブラウンオリーブに変更しました。
- ・低層部のガラスカーテンウォールは山下公園側に新しい表情を作り出します。

### 3 施設の特徴について

- ・1階 「街と市民のコミュニケーションゾーン」  
総合インフォメーション、灯台灯具の展示、気軽に立ち寄れるカフェレストラン  
FMヨコハマサテライトスタジオ
- ・2階 「観光交流ゾーン」  
横浜の文化・街の歴史・情報を紹介するスペース、001ショップ  
展望エレベータ搭乗口
- ・3階 「文化交流ゾーン」  
市民利用や各種コンベンション、イベントなど、多目的な利用が可能な  
マリントワーホール（大）、アートホール（小）
- ・4階 「食のエンターテイメントゾーン」  
神奈川近郊の素材を活かした洋食レストラン

### 4 運営事業者について

代表事業者 リスト株式会社

構 成 員 株式会社ゼットン（飲食担当）、横浜エフエム放送株式会社（情報発信担当）  
株式会社ティケイスクエア（企画・デザイン担当）

### 5 展望台営業内容について

(1) 展望料金		(2) 営業時間	
	( ) は旧料金		
大人	750円 (700円)	入場開始	午前10時
中高校生	500円 (高校生500円)	最終受付	午後10時
小学生	250円 (小中学生350円)		(午後10時30分まで営業)
幼児	200円 (250円)		
3歳未満	0円 (0円)		

### 6 ロゴマークについて

リニューアルするマリントワーをイメージして、新しいロゴマークを作りました。

= 参考 =

#### ■マリントワー再生事業について

##### > 経緯

- 昭和33年 横浜開港100周年記念事業の一環として、市民からの発意により建設が計画され、民間運営会社が設立される
- 昭和36年 マリントワー開業（1月）
- 平成17年 民間運営会社が営業終了表明、市民から保存・活用について要望
- 平成18年 横浜市が開港150周年に向けて再生することを決定  
運営事業者公募（11月）、マリントワー営業終了（12月）
- 平成19年 横浜市がマリントワーを取得（1月）、運営事業者の決定（6月）
- 平成20年 改修工事着手（3月）
- 平成21年 改修工事竣工（3月）、グランドオープン（5月）

##### > 事業概要

- 事業目的
  - ・民間事業者の企画力・経営資源を活用し、横浜の観光振興と、山下公園周辺地区や、中華街及び元町山手地区の活性化を図ります。
  - ・より魅力ある事業を実施する者を選定し、民間事業者の事業収益により、マリントワーの運営及び維持管理を行います。
- 事業期間 平成18年度～平成20年度
- 総事業費 約31億円

##### > 運営方法

- 施設の貸付け  
横浜市（建物所有者）は運営事業者に建物を一括して貸し付けます。（定期建物賃貸借契約）
- 施設の運営  
運営事業者は建物を一括して借り受け、自らの事業収益をもって、施設の運営、維持、管理を行います。

##### > 施設概要

- 高さ 106m（塔頂部）
- 展望台（2階：91m、1階：88m） □ 低層部（1階～4階）
- 敷地面積 約3,600㎡ □ 建築面積 約1,500㎡ □ 延床面積 約4,000㎡